

平成30年 小諸市成人式
20年の想いを込めて



平成30年1月3日(水)、小諸市文化センターにおいて成人式が行われました。

多くの新成人が出席し、友人や恩師との再会を喜び合いました。

成人式の実行委員長・副実行委員長から新成人としての決意をお聞きしましたのでご紹介します。



「大人になるということ」
実行委員長 井出 千晶



この度は、成人式を生まれ育った小諸市で迎えることができ嬉しく思っています。毎日朝ご飯を食べ、学校に行き、お風呂に入り、寝る。この当たり前のような幸せは支えてくれる人がいるから送ることができています。小学生、中学生、高校生のときは、このことに気づいていませんでした。支えてくれている人に感謝が欠けていたと思います。けれど、今はこのことに気づくことができました。嬉しいとき、悲しいときいつも私の周りには声を掛け

てくれる人がいました。成人式を迎え大人になった今、これからは私が支えてくれた方々へ恩を返していきたいと思っています。私は今、学生です。卒業したら看護師として働きます。看護師という仕事を通して地域の方々のために精一杯尽くしていけるように頑張りたいです。

「あつという間の20年」
副実行委員長 佐藤 舞



思い返すと、色んな失敗・後悔、楽しい出来事がありました。いくつもの山を登り、

転んでは、たくさんの人たちに手を引張っていただき、背中を押していただきました。家族・いとこ・近所の方々・友人・先生方にさまざまな言葉を掛けてもらい、元気をもらってきました。また、色んな人たちに出会い、思いや考えを知り、新しい発見・勉強することができました。

そして、いつも私のそばには家族の支えがありました。感謝しても感謝しきれないくらいたくさんさんの元氣・勇気・応援をもらいました。今度は私が家族の支えになりたいです。

まだまだ大人になれない自分ですが…成人としての意識を持ち、言動に責任を持って生活したいです。

これからも一歩一歩進み、時に振り返り、初心に戻り、諦めず、挫けずに勇往邁進して精一杯自分の力を出していきたいです。

この日を迎えられたことをとても嬉しく感謝しています。また、成人式の準備に協力してくださった皆さん、ありがとうございました!!

